



HOT NEWS
鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修
言葉の壁を越えつながる心と心

1. ホストファミリーとビーチで記念撮影
2. ホストファミリーとのお出かけもかけがえのない思い出
3. すぐに打ち解けることができたクラスメイトと記念撮影
4. 初めて触れたカンガルー
5. お世話になったホストファミリーとともに
6. 現地の子どもたちと。
7. 異国の授業を体験
8. 現地の子どもとともに勉強に励む
9. 姉弟のように仲良くなったホストファミリー
10. 一緒に勉強に励んだクラスメイトとともに

毎年、町内の中学生を対象に、海外での生活を通じて、語学や異文化を学ぶことを目的に行われている「鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修」。今年は広見中学校3年竹本彩恵さん、高田愛鈴さん、西川春翔さん、三好侑一さんの4人が参加しました。

8月16日から25日までの10日間にわたり、オーストラリアのトゥーンバ市で研修を行った4人。ホストファミリーやクラスメイトなど、現地の人の優しさに触れながら、日本では経験することができない異国の文化を体験してきた生徒たちにも、研修を終えての感想や未来に向けての抱負を聞きました。

今回の研修で僕が学んだことは、積極的に行動することです。初めてのホームステイでとても不安でしたが、自分から積極的に行動することを心掛けて過ごしました。

ホストファミリーはとてもフレンドリーで、いつも親切に接してくれました。また、ビーチや買い物に連れて行ってもらい、生の英語を肌で感じることができました。現地の学校では、子どもたちと一緒に授業を受けたり、オーストラリアについてたくさんのことを学んだりしました。日本の学校と違う点が多々あり、とても勉強になりました。

今回の研修を通して、さまざまな経験ができ、たくさんのことを学ぶことができました。今回の研修を自分の将来に生かしていきたいです。

広見中学校
にしかわ はると
西川 春翔

この研修で、私は何事にも積極的に取り組むことの大切さを学びました。

オーストラリアでの生活で、一番苦労したことは「英会話」でした。ホストファミリーや学校の子どもの会話についていけず、最初はとても困りました。しかし、聞き返すとゆっくり話してくれたり、ジェスチャーで表現してくれたりして、きちんと理解することができました。現地の方から「英語を話すのが上手ですね」と言われたときは、自分に自信が持て、積極的に話しかけることができるようになりました。そして、英語で会話することがとても楽しくなりました。

この研修で学んだことや体験したことをこれからの生活に生かし、失敗を恐れず、何事にも積極的に挑戦したいです。

広見中学校
たけもと さえ
竹本 彩恵

